



ぽぷら

令和7年10月21日 特別号

URL <https://www.nishishiroishi-e.sapporo-c.ed.jp>

全国学力学習状況調査について

4月18日（木）に実施された全国学力学習状況調査結果（小6、中3）の札幌市の概要が、すでに新聞等で発表になっております。

本校の国語・算数・理科の概要と課題、改善の方向の結果をお知らせします。なお、本調査で学力の全てが把握できるものではなく、あくまでも一部分であることをご承知おきください。

【国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【内容】

○言葉の特徴や使い方に関する事項
△全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

○情報の扱い方に関する児童
▼全国平均を下回っている。

○我が国の言語文化に関する事項
▼全国平均を下回っている。

○「話すこと・聞くこと」
▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

○「書くこと」
▼全国平均を下回っている。

○「読むこと」
▼全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

今回の調査における課題

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

●情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うこと。

●時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。

●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

●目的や意図に応じて、集めた資料を分類したり、関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。

●事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

●人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えること。

改善の方向

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う学習活動の充実。

○情報と情報の関係や語句と語句との関係を図などで表す学習活動の充実。

○読書により、自分の考えがどのように広がったかを表現する学習活動の充実。

○オンラインで交流する場面で、資料を見せながら効果的に説明する学習活動の充実。

○発表や交流の前にメモや資料を準備し、伝えたいことをまとめておく学習活動の充実。

○事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する学習活動の充実。

○人物像や物語の全体像を具体的に想像し、自分の考えやその理由を記述する活動の充実。

【算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【内容】

○数と計算

△全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

○図形

▼全国平均を下回っている。

○変化と関係

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

○データの活用

△全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと。
- 除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解すること。
- 球の直径と立方体の一辺の関係を捉え、立式すること。
- 道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。
- 速さの意味を理解すること。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること。
- 示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること。

改善の方向

- 問題を理解し、立式するまでを考える活動の充実。
- 除数が1以下の小数や分数になった時の商の大きさについて理解する活動の充実。
- 球の直径とぴったり入る箱の辺の長さの関係を捉えて立式する活動の充実。
- 問題を理解し、答えの理由を文章や数を用いて記述する活動の充実。
- 分けて表現されていても、分速が同じなら、全体も同じになると合理的に理解できる活動。
- 問題に応じてデータから必要な数値を読み取り、問題に当てはまることを言葉や数値を用いて記述する活動の充実。
- 示された情報から必要な数値を読み取り、課題に対して的確に必要な答えを導き出す活動の充実。

本校の概要

【内容】

○「エネルギー」を柱とする
領域

△全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

○「粒子」を柱とする領域
全国平均とほぼ同程度である。

○「生命」を柱とする領域
△全国平均を上回っている。

○「地球」を柱とする領域
△全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

- 乾電池のつなぎ方について直列つなぎや電磁石を強くする方法を理解し、身に付けること。
- 「水は温まると体積が増える:」を根拠に海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。
- 水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す、解決するための観察、実験の方法が適切であったか検討し、表現すること。
- 発芽するための条件を調べる実験で、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて「結果」や「まとめ」を基に他の条件での結果を予想して、表現すること。

改善の方向

- 物質の性質に関する理解を深めるために、学習した知識を既習の内容や他の学習や生活と関係付け、習得した知識を整理し、表現する活動の充実。
- 結論を見いだす過程において、結果そのものと、その考察を区別してより妥当な考えをつくりだすことができるよう、子どもの表現を整理する教師による関わりの充実。
- 問題を見いだす力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見いだした問題をノートに書くなどの、思考し表現する活動の充実。
- より妥当な考えを作り出す力を育むために、観察、実験などの結果を根拠にして、他の条件での結果を推測する活動の充実。